



ひなどり

園だより 1月号
令和4年 1月11日
新潟市立新津第三幼稚園

「人と向き合う力」

園長 川合 千尋

新しい年を迎えました。昨年も困難な状況の中、園の教育活動にたくさんのご支援をいただきましたこと大変感謝申し上げます。皆様方のご支援に感謝し、子ども達一人一人の成長に喜びを感じながらこれからの教育活動を推進して参りたいと存じます。今年も新津第三幼稚園をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しい時代を生きる子どもたちにとって、一番必要となる力はどんな力だろうとよく考えます。これから子どもたちが迎える社会では、今の職業の半分くらいはなくなっていると言われていています。ですから、今の感覚で考えていると、せっかく身に付けた力を活かすことができない社会になっているかもしれません。現在盛んに話題になっている AI によって、これまで人間がやってきたことを代わりにやってくれるロボットがたくさんできているかもしれません。

そんな未来を想像しますが、「人と向き合って仕事をする」ことは、まだまだ必要とされるのではないかと思います。困っている人の悩みを聞いたり、気持ちにより添ったりする仕事、相手の将来を真剣に考えたり、悔やまれる過去に共感したりする仕事などなど、多くの人々と関わる仕事は残っていると思っています。（そう信じたいところです。）

子どもたちが「人と向き合う力」を身に付けるには、「言葉」や「表情」で自分の気持ちを表現することができるようにならなければなりません。感情のまま行動したことについて、丁寧に言葉にしてもらったり、その時の表情をつくってあげたりすることを繰り返すことが必要です。そうすることを繰り返された子どもたちは、言葉や表情が豊かになり、自分の気持ちをしっかりと相手に言葉や表情で伝えるようになります。また、何よりも自分の気持ちをしっかりと受け止めてくれた大人が側にいることで安心できます。それが「人と向き合う力」になると思います。そんな力を身に付けてもらうためにも、私たちは、子どもたちとしっかりと向き合っていきたいと思います。

